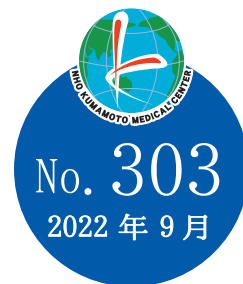


国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



重症熱傷治療18年の軌跡

熱傷センター長 大島 秀男

【特集】

熱傷センターのご紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 糖尿病・内分泌内科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター

検索

ホームページ QR コード▲

当院の熱傷診療は、2003年当時の高橋 毅 救急科部長（現院長）の尽力でスタートしました。救命救急センター開設時、「熱傷急性期の治療を自分たちで何とかしよう」とのコンセプトで患者受け入れを始めたことが契機です。

2004年には形成外科が新設されて熱傷ベッドや熱傷浴槽など重傷熱傷管理の整備がすすめられ、広範囲熱傷や気道熱傷を合併し全身管理を要する重症熱傷患者は救急科・形成外科が、一般病棟で入院する熱傷患者は形成外科・皮膚科が主科として担当するようになり現在に至っています。

熱傷治療は救急科・形成外科・皮膚科・リハビリテーション科・検査科・ICT・栄養管理室など、複数の診療科・多職種から成るチームで行っています。重症熱傷患者は救命救急センター内にあるICUに入室となり、ショック期と感染期を脱して安定するまでの数週間、全身管理と同時に焼痂切除・植皮術を行います。また2009年からは自家培養表皮が広範囲熱傷治療に保険適用され、体表面積30%以上の重傷熱傷患者の手術治療に使用しています。この間、早期よりのリハビリ・栄養管理・感染対策が院内各チームの協力によってなされま

す。急性期を脱すると一般病棟に転棟し、創傷治療と並行して社会復帰を目指した治療と訓練が行われます。

熱傷後の瘢痕皮膚はつっぱるため、手の熱傷では握る、つまむ動作ができなくなり、腋の熱傷では腕が上がらなくなり、顔の熱傷では口や目が開閉困難となったりしますが、形成外科ではこれらの日常生活に支障をきたす機能障害、変形の治療を行います。熱傷治癒後のこれらの後遺症手術を要する症例を外来フォローしADL、QOLの改善を目指します。

この他、熱傷センターや病棟の看護スタッフだけでなく、精神面の治療・サポートには精神科が、火災で住居焼失など退院に向けた諸問題にはMSW（地域医療連携室）が協力するなど多数の病院スタッフが必要なチームを組み、熱傷患者の救命・社会復帰に向けて努力しています。今後ともご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

熱傷センター長
おおしま ひでお
大島 秀男



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります



上水前寺 つつみ整形外科

院長 堤 つつみ やすしろう
康次郎



◆貴院のアピールをお願いします

令和3年11月に私が生まれ育った水前寺に整形外科クリニックを開院しました。私を含めてスポーツ経験豊富で、スポーツ障害の治療経験豊富なスタッフが多く在籍しており、スポーツによる怪我やリハビリテーションにも対応いたします。

X線や骨密度測定は高画質・低被ばくの最新のデジタルX線装置を採用し、安全に検査を行うことができます。また、最新のエコー機器を導入し、靱帯損傷、肉離れや腱の炎症などの確な診断が可能です。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

私は野球が大好きです。小さい頃から白球を追いかけて、現在も医局野球部に所属しており、20代の若者に交じって現役でプレイしています。今後の九州大会で活躍できるようトレーニングに勤しんでいます。5人の子供たちも大学～小学校で全員野球部に所属しています。また、海釣りも趣味としており、最近はアオリイカ、太刀魚、イサキ、鯛釣りに行きました。移動中に見る天草の朝焼けは最高で、自分で釣って絞めた魚の味は格別です。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

私は済生会熊本病院で15年間勤務していましたが、その頃から精神疾患をお持ちの患者さまや婦人科・小児科の患者さまをご紹介させていただいた際に、いつも快く引き受けてくださり、大変感謝しています。

貴院の素晴らしい医療実績は、地域医療の支えとなっていますし、私たちも安心してお任せできます。毎日お忙しい中、大変恐縮ではございますが、当クリニックで対応困難な患者さまをご紹介させていただく際にはよろしくお願いいたします。



【診療科目】

一般整形外科、リハビリテーション科、
スポーツ整形外科

【診療受付時間】

月・金 9:00～12:30、14:00～19:00
火・木 9:00～12:30、14:00～17:30
水・土 9:00～12:30 (午後は手術日)

【休診日】

日曜・祝日・お盆・年末年始

【住所】

〒862-0951 熊本市中央区上水前寺2丁目2-8

【TEL】

096-383-0223

【FAX】

096-383-0224



東水前寺バス停から徒歩約1分

駐車場は52台完備(病院前・病院横・第二駐車場)



最近のトピックス

慢性甲状腺炎（橋本病）について

国立病院機構熊本医療センター
糖尿病・内分泌内科医師にしだ しゅうへい
西田 周平

●甲状腺について

甲状腺は首の前方にある蝶々のような形をした臓器です。喉ぼとけの下あたりに存在します。臓器は右葉、左葉と峡部から成ります。大きさは縦に3～5cm程度です。嚥下に伴って上下に動くので、診察の時に患者さまに唾を飲み込んで頂きながら触診をすることがあります。甲状腺にため込まれているホルモンが甲状腺ホルモンです。甲状腺ホルモンは体の代謝に重要な役割を果たします。

●慢性甲状腺炎（橋本病）

慢性甲状腺炎は1912年に橋本 策博士によって明らかになった疾患であり、博士の名前から橋本病ともいわれています。慢性甲状腺炎は自己免疫疾患の一つです。免疫が甲状腺を標的にすることで、甲状腺に慢性的に炎症が生じ発症します。なぜ免疫の異常が引き起こされるのかは未だにわかっていません。

慢性甲状腺炎は、甲状腺の数値が低くなる甲状腺機能低下症の原因疾患の一つです。男性よりも女性に多く、成人女性の10人に1人にみられます。ただし、全例に甲状腺機能低下が認められるわけではなく、甲状腺機能が正常な方もいます。実際に甲状腺機能低下が認められるのは慢性甲状腺炎の方の4～5人に1人

とされています。

甲状腺が腫れてくるのが特徴ですが、自覚症状に乏しく、偶然診察時や首の超音波検査で見つかることもあります。

甲状腺機能低下が認められる場合は、むくみや、便秘、無気力、体重増加、寒がり、かすれ声などの症状がでてくることがあります。認知症やうつ病に間違えられることもあります。筋肉の酵素の一つであるクレアチニンキナーゼ（CK）やコレステロールが採血で上昇することもあります。実際に甲状腺機能が低下しているかどうかは、採血で甲状腺ホルモンを測定することで判明します。

甲状腺機能が正常である場合、基本的に治療の必要はありません。甲状腺機能が低下している場合は合成T4製剤を内服します。甲状腺機能は変動することもあります。いったん甲状腺機能低下症となった場合、合成T4製剤は生涯必要になる場合が多いです。また、甲状腺機能が正常であっても甲状腺刺激ホルモンが10を超える場合や、妊娠中の場合は合成T4製剤で治療する場合があります。特に妊娠中の場合、甲状腺刺激ホルモンのみが高い潜在性甲状腺機能低下症であっても流産や妊娠高血圧症のリスクがあることが知られているため、合成T4製剤を内服して甲状腺刺激ホルモンを低めに保つ必要があります。



泉早苗元看護部長が「瑞宝双光章」を授与されました

【筆者】管理課長：内村保雄一

この度、令和4年度春の叙勲において、泉早苗元看護部長が「瑞宝双光章」を受章されました。瑞宝章は長年にわたり、公務等に従事し成績をあげた方に対して授与されます。

受章されたことをうけまして、令和4年7月15日（金）に泉元看護部長を当院にお招きし、「お披露目式」を開きました。お披露目式には、泉元看護部長と苦楽を共にした高橋院長をはじめ医師や看護師等、多数集まり当時の話に花が咲きました。

また、看護部からは以下のとおりコメントを頂きました。

～泉元看護部長は平成30年4月に熊本医療センターへ赴任され、令和3年3月に退任されました。その間、看護師特定行為研修の開講、フライトナース運用開始、創立150周年記念式典の開催、さらには新型コロナウイルス感染拡大に伴う感染対策強化など、様々な場面を通して私たち看護部をご指導・ご支援いただきました。

また「笑顔あふれる職場環境づくり」を掲げられ、赴任と同時にQooma&Qの看護部マスコットを作られ、看護部長室のお昼タイムには四季折々を感じられる折り紙や飾りものを作成するQooma工房が開設されました。なかなかぎこちない手つきの副看護部長へ手取り足取り？でご指導いただきながらアジサイや傘、クリスマスツリー、ひな人形等々、様々なものを作成しました。できた作品は、患者さまや現場で働く看護師への心配りとして各部署へ配られました。文字通り「笑顔あふれる職場環境づくり」であった思い出されます。その



教えを胸に、明るく楽しく笑顔あふれる熊本医療センター看護部として日々の看護を实践できるよう努めていきたいと思えます～

最後に、泉元看護部長から「今回の叙勲に際し、新卒の頃の看護師長さんからお祝いの言葉をいただき涙がでました。たくさんのご縁に恵まれ、そのご縁によって成長させていただき、今の私があるのだと実感しております。これからも出会いを大切にじっくり育んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。」とお言葉を頂戴いたしました。

この受章はご本人にとってはもちろんですが、職員にとっても誇りであり、お披露目式では皆で喜びを分かち合うことができました。



7/23（土） | 令和4年度 オープンキャンパス 学

【筆者】教員：市場 美織

コロナ感染拡大防止対策を講じたうえで、対面形式でオープンキャンパスを開催致しました。高校生84名、保護者31名の方々が参加されました。模擬授業やフィジカルアセスメントの看護技術体験、赤ちゃんふれあい体験、学校紹介などを行いました。参加者の方々からは「学生の皆さんがとても明るく、楽しく勉強できる環境だと思った。面白かったです。」「赤ちゃんの看護技術体験が楽しかったです。みなさんとても優しく雰囲気明るくて良かったです。」「学校がとても清潔感があり良かったです。タブレット学習で重い荷物から解放され良い」などの感想をいただきました。直接来校してもらい、在校生と触れ合うことや、学習環境を見学してもらうことで、本校に対する興味・関心が高まったのではないかと思います。

【場所】熊本医療センター附属看護学校



7/29（金） | ひとてまプロジェクト KKRホテル熊本兼行料理長監修 中華スペシャルランチ 栄

【筆者】管理栄養士：岡田 郁香

2022年5月9日よりKKRホテル熊本の兼行料理長から中華料理の指導を受けています。

これまで調理指導、新メニュー提案など約2ヶ月半のやり取りをし、兼行料理長が見守る中、7月29日に新中華スペシャルランチを提供することができました。

これから更にこれまでの料理のバージョンアップと新メニューの追加を目指していきたいと思えます。

【場所】各病棟



研修医レポート

臨床研修医

だいほ しずき
大保 静



こんにちは。研修医1年目の大保静と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修を行わせていただいております。研修が始まって3ヶ月余りが経過しました。まだまだ分からないことばかりですが、忙しくも充実した日々を送っています。

私は腎臓内科から研修が始まりました。右も左もわからない状態で緊張しっぱなしの毎日が続きましたが、スタッフの皆様に色々なこ

とを教えていただきながら少しずつできることが増えていきました。腎臓内科では腎不全で透析治療をされている患者さまやネフローゼ症候群の患者さまの診察・治療を行わせていただきました。診察をしながら、患者さまの様々な思いを聞いたりすることもありました。また、実際に検査や処方オーダーをしたり、受け持ち患者さまを他科にコンサルトしたりすることもあり、実際に私が医師として治療に携わっているという強い責任を感じながら、研修を行うことができました。

次に、血液内科で研修をさせていただきました。PICC 挿入や髄注、骨髄穿刺など経験させていただける手技も多かったですが、日々成長を感じることができました。また、担当患者さまが亡くなられたあと死亡診断書を記載させていただきました。改めて人の命の重さを実感しました。

毎日が緊張と失敗の連続ではありますが、多くの方々に支えられながら、充実した毎日を過ごさせていただいております。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修医

しきじ ゆうき
式地 優樹



こんにちは。研修医1年目の式地優樹と申します。広島大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターで初期研修をさせていただいております。研修が始まって3ヶ月が経ちました。まだまだ至らないことばかりですが、指導医の先生方やスタッフの方々に助けをいただきながら日々研修に励んでいます。

私は、外科から研修がスタートしました。まずはカルテの書き方や処方・オーダーの仕方、お手紙の書き方など業務を行うにあたり基本的なことを覚えるので精一杯でした。外科の研修では、術前術後管理から手術まで内科的側面から外科的側面まで幅広く学ばせて

いただきました。手術では、担当の患者さまの手術だけでなく、多くの手術に参加し、腹腔鏡のカメラ持ちや縫合をさせていただきました。カメラ持ちでは術者がどこを操作したいのかを考え、それに応じて映し方を変えていく必要がありました。始めは先生方に指示していただくままに動かすだけでしたが、手術の流れが分かってくるに連れ自らカメラを動かせるようになると、自分も手術に参加している実感が湧き、やり甲斐を感じるようになりました。

また、外科での研修に加え、週に1回程度のペースで救急外来での当直も始まりました。始まった頃は搬送されてきた患者さまを前に何をすればいいかわからず、あたふたするばかりで無力さを感じさせられました。早く力になれるよう指導医の先生方や研修医2年目の先生方にご指導いただきながら、日々勉強させていただいております。

まだまだ未熟で先生方やスタッフの方々にご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、早く皆様のお役に立てるように日々精進して参ります。2年間よろしくお願いいたします。

臨床研修医

きむら かずひろ
木村 和弘



初めまして。研修医1年目、木村和弘と申します。埼玉医科大学を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。高校卒業以降、熊本を離れていたため故郷に帰ってこれたことに喜びを感じる一方、一から再出発との気持ちで日々研修させていただいております。

私は現在、血液内科、外科、小児科のローテートを終えたところです。毎日反省点も多くご迷惑をおかけしていますが、多くの方々に助けをいただき感謝の思いで一杯です。また各診療科にて様々なことを経験させていただき多くの発見、学びがありました。特に外科での研修は私自身印象に残る研修となりました。

外科の先生方と過ごす時間は濃密で、有意義な時間でした。しかし

個人的に失敗と感じる部分も多く、時に自分自身を責めることもありましたが、そのような日も普段通り振る舞っているつもりでしたが、指導医の先生より「自分の不甲斐なさを知れ、勉強しろ、後でお前の成長に繋がるから」と声を掛けていただきました。以後、以前よりも納得する結果を得ることができるようになり、今でもその言葉に支えられています。

また、先生と私の合言葉は“ガッツ”でした。目の前の患者を必ず助ける、沸々と心の奥底から燃え上がる熱い“ガッツ”の気持ちで取り組むことが最も自分を成長させる（あくまで頭の中は“スマート”に）とも教えていただきました。先生の低侵襲で患者の心情に配慮した処置や、ICでの言葉遣いは非常に高度で研修医の私には到底真似できるものではありませんでしたが、私の描く医師そのものでした。先生と過ごした日々はかけがえのない時間でした。

私は一度九州を離れたからこそ熊本の魅力を再認識しました。早く熊本に恩返しをしたい、その一心で大学時代を過ごしました。念願叶って熊本医療センターで研修を始めることができました。素敵な先生方、スタッフの方々とも出会えました。後は私が一人前の医師となるだけだと強く感じています。日々精進していく所存ですのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

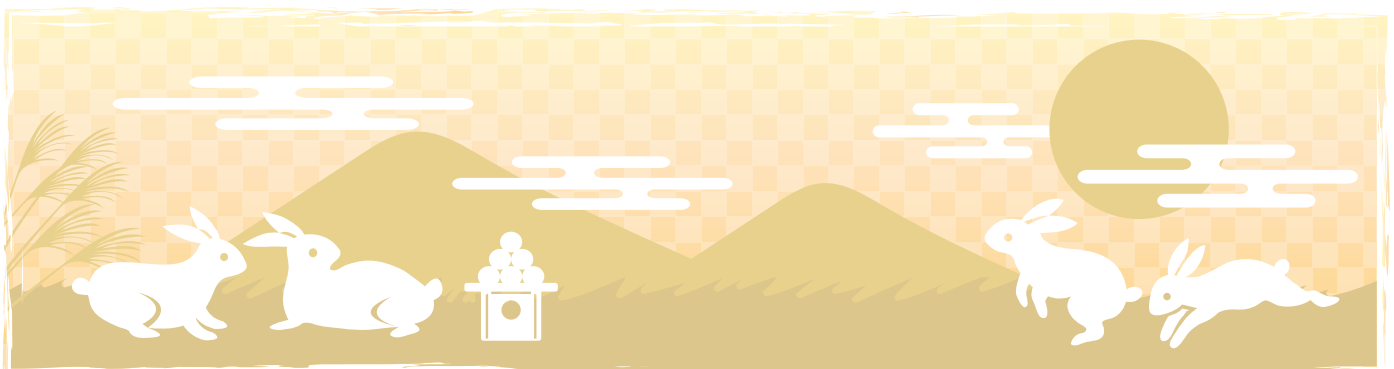
2022 年 9 月研修のご案内

二の丸 モーニングセミナー	日時▶ 9月1・8・15・22・29日(木) 8:15~8:45 場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール
第10回 すべてのナースのための エンド・オブ・ライフ・ケア ~ELNEC-J in KMC~	日時▶ 9月3日(土) 8:50~17:10 9月4日(日) 8:30~16:40 場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール
第54回 診断と治療ー最新の基礎公開講座ー [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]	日時▶ 9月10日(土) 15:00~17:30 場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール
座長 リハビリテーションセンター熊本回生会病院院長補佐 中村 英一 先生 「大腿骨近位部骨折と骨粗鬆症における地域連携医療」 (1) 大腿骨近位部骨折：急性期医療機関から回復期医療機関への連携 国立病院機構熊本医療センター整形外科副部長 前田 智 (2) 骨粗鬆症の診断と治療 up to date 朝日野総合病院整形外科医師／骨粗鬆症外来 辻 王成 先生 (3) 内科医と行う骨粗鬆症の連携医療 江南病院診療部長／整形外科、リハビリテーション科センター長 渡辺 充伸 先生	
第283回 月曜会（内科症例検討会） [日本医師会生涯教育講座1.0単位認定]	日時▶ 9月12日(月) 19:00~20:00 場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール
1 血液内科からの一例 2 総合診療科からの一例	
第136回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会	日時▶ 9月14日(水) 17:30~18:30 場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール
緩和ケア研修会	日時▶ 9月23日(金) 8:30~17:15 場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール
小児科火曜会【WEB配信あり】	日時▶ 9月27日(火) 19:00~21:00 場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室1

※今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえ、急遽中止させていただく場合がございます。
最新の情報は当院ホームページでご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長

菊川 浩明

令和4年9月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科			月		火		水		木		金	
総合医療センター (内科)	総合診療		辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子				
	血液		河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 貴久	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃					
	糖尿病・内分泌		西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 荒木 裕大 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)					
	呼吸器センター		名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記		名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	原 英記 (院内コンサルト)				
	感染症内科			小野 宏			小野 宏					
	腎センター (腎臓内科)		梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎					
	腫瘍内科		境 健爾	境 健爾 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾	境 健爾 達智					
消化器病センター (消化器内科)	診 察		石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 佐々木 大亮	杉 和洋 松山 太一 山本 暖	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮					
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 大亮	松山 太一 山本 暖	中田 成紀 向坂 健佑	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥					
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 佐々木 大亮 山本 祐弥	中田 成紀 松山 太一 山本 暖 祐弥	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥					
	腹部超音波		杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 松田 暖 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 佐々木 大亮 山本 祐弥	杉 和洋 松山 太一					
心臓血管センター (循環器内科)	診 察		田山 信至 山下 裕章 (新患) 木村 優一 (新患)	長倉 藤本 奥野 拓光 (隔週 新患) 奥野 佑樹 (隔週 新患)	片山 哲治 (新患) 山下 裕章	田山 信至 (新患) 白尾 友宏 長倉 拓光 奥野 佑樹	藤本 片山 片山 木村 優一 奥野 佑樹					
(心臓血管外科)			手術日	岡本 健実 岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実					
精神・神経科	初めての方 2回目からの方											
小児科	診察		水上 智之	濱口 正義	水上 智之	水上 智之	小山 真輝					
	免疫		水上 智之		水上 智之	水上 智之						
	血液		右田 昌宏		担当医		右田 昌宏					
	アレルギー			緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美					
外科			東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 克孝 谷崎 卓実	野元 大地	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生					
脳神経センター (脳神経外科)			中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	斉藤 大嗣 大塚 忠弘					
(脳神経内科)	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	津田 幸元					
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	田北 智裕					
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智和 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦						
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		國武 茜		富野 航太						
泌尿器科			前田 喜寛 銘功 晋吾	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘功 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 東 俊之介 / 担当医					
産婦人科			高木 みか 坪木 純子	山本 直 小林 克	手術日	高木 みか 坪木 純子	山本 直 小林 克					
感覚器センター (眼科)			榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂					
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日		上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕						
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	担当医	担当医	牧野 公治						
	再診 (その他 初診)	中原 智史 草場 雄道	牧野 公治 西 葉月	中原 智史 中嶋 仁美	草場 雄道 西 葉月	牧野 公治 中嶋 仁美						
形成外科	(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太		(午 後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 大島 秀男 石田 拓也 大塚 駿太						
放射線科	治療 (予約制) 画像診断	富高 悦司、山田 茂雄 根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治										
麻酔科			宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)	休診				(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)				
緩和ケア外来			磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆					
歯科 口腔外科			森 久美子 (隔週) 谷口 広祐 中尾 美文 中川 真奈 早川 顕誠 (隔週)	中島 健 森 久美子 谷口 広祐 (隔週) 中尾 美文 中川 真奈 (隔週)	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈					
			櫻井 聖大 橋本 克孝 山田 周 國友 耕太郎 吉村 文孝 深木 浩之 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 耕太郎 久保崎 順子 深木 浩之 大樹 大樹	櫻井 聖大 橋本 松本 山田 克孝 周 浩之 深木 文彦 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 松本 山田 克孝 周 浩之 深木 大樹	櫻井 聖大 橋本 山田 周 浩之 宮内 大介 杉野 大樹					
看護外来	ストーマ	認定看護師		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師					
	がん看護 移植後フォローアップ	専門看護師 (午前) 専門看護師 他	専門看護師	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師 他	専門看護師					
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師					

(注) 担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R4/9/1